

**DH SYSTEM**

大日本塗料株式会社

商品番号 6580

ガードシールLP

1. 一般名 湿潤コンクリート面用エポキシ樹脂塗料
2. 規格 社内規格
3. 特徴 1) 湿潤面に塗装可能ですぐれた塗膜が得られる。
2) 淡水、海水中に没水されるコンクリート構造物、鋼構造物に適用可能である。
3) 低粘度で作業性が良好である。

4. 塗料性状

項目	内容			
容姿	2液性			
荷姿	10kg缶 (主剤: 5kg、硬化剤: 5kg) 5kg缶 (主剤: 2.5kg、硬化剤: 2.5kg)			
色相	グレー、ブルー			
光沢	つや有り			
密度 (23°C)	塗料	1.70 (グレー)		
	揮発分	—		
加熱残分	99% (グレー) (理論値)			
乾燥時間	温度	10°C	20°C	30°C
	指触	7時間	4時間	3時間
	半硬化	24時間	16時間	12時間
標準膜厚	500μm			
引火点	SDS参照			
発火点	SDS参照			
爆発限界(下限~上限)	SDS参照			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動がある。

6. 施工上の注意

- サンドブラスト、水中サンダー、ワイヤーブラシ、マジックロン等を併用し、被塗面の脆弱層、異物等を除去・清浄する。
- 使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態にする。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか、塗膜が硬化しないことがある。
- 主剤と硬化剤を混合した後は、可使用時間以内に使い尽くすこと。
- シンナーで希釈しないこと。
- 施工間隔が長くなると密着不良を生ずることがあるので必ず規定時間以内で塗り重ねを終了すること。尚、規定時間以上経過した場合は、材料表面をサンドペーパー或いはマジックロン等にて研磨調整してから施工する。
- 塗装終了後の使用器具は直ちにエポニックスシンナーBで十分に洗浄する。
- 気温が10°C以下では塗膜の乾燥が極端に遅くなるので、使用の際は注意する。
- 大気部の塗膜外観に配慮する場合は湿度85%RH以下での施工に留意する。

5. 塗装基準

項目	内容			
下地処理	ディスクサンダー、プラスト処理			
調合法	主剤: 50部、硬化剤: 50部 (重量比)			
可使用時間	10°C	20°C	30°C	
	60分	45分	20分	
洗浄用シンナー	エポニックスシンナーB			
塗装法	塗装方法	コテ、ヘラ、ローラー		
	希釈率	希釈しない事 (原液のまま使用)		
	標準使用量	1.00 kg/m ²		
	標準膜厚	500μm		
	ウレツ管理膜厚	500μm		
塗装間隔	温度	10°C	20°C	30°C
	最小	24時間	16時間	12時間
	最大	7日	7日	7日

注) 標準使用量は被塗物の形状や塗装条件によって異なる。

7. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第3石油類	指定可燃物
有機溶剤区分	—	—
有害物質表示	SDS参照	SDS参照
劇物表示	—	—

8. 使用上の注意 [警告]

- (1) 安全情報に関する内容は、SDSをご参照下さい。

使用上の注意の詳細は容器のラベルに表示。